

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2024 年度事業方針

2024年度にあたり、令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての方に心からお見舞い申し上げます。当協会として出来ることを、探索してゆきます。

事業として、第38回リハ工学カンファレンスin東海を、愛知県東海市で開催を目前にしています。

福祉機器コンテストは、特別協賛、協賛企業様の変わらぬ支援をいただき、審査が進んでいます。第38回リハ工学カンファレンスin東海会場での選考会を経て、決定されます。

結果は、より多くの方に知っていただきたいこともあり、選考会後のカンファレンス会場で発表します。Webの公開後、第51回国際福祉機器展(H.C.R.2024)で、表彰式を執りおこないたいと考えています。

表彰式後は、ニーズ・シーズマッチング交流会(大阪・東京)、バリアフリー2025会場にて実物の展示をし、より多くの方の生活を支援することが出来るよう展開を検討してゆきます。

協会誌は郵送料の高騰化という課題がありますが、継続的に発行します。協会誌編集委員会特集記事小委員会による、リハビリテーション工学の基礎から応用、今後を示唆する特集を推進してゆきます。学術的な推進を支える同査読論文小委員会によって、優れた研究を掲載してゆくことが、さらに可能になると考えています。電子化によるアクセシビリティの改善も、更に進めてゆきます。皆様の更なる積極的な投稿を期待しています。

分科会・専門委員会関連事業として、SIG(Special Interest Group)の対面開催の講習会があります。実施する企画に関しては、案内を地域限定することなく、全国的に協会のメーリングリストで情報共有をお願いします。また必ず協会誌に参加報告結果が掲載されるように配慮ください。継続的に、講習会の情報提供が出来ればと思います。

地域支部はWeb会議システムを利用して、企画した支部のイベントに、離れた地域からも参画できる仕組みが実証されました。単独での活動が激しい地域が生じています。各支部でできることを支えてゆきます。もちろん協会主導のイベント、リハエミライ・アッセンブリーとも、さらなる連携を進めます。

災害対策は、災害対策委員会が継続して対応します。一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)と連動してゆきます。加盟している(一社)日本義肢装具学会、(公社)日本義肢装具士協会とは、継続的に情報共有をおこなう適切な支援の継続を進めます。独自には、再度八王子いちよう祭りに参画し、災害対策セミナー開催を検討します。

企画推進事業は、リハエミライ・アッセンブリーを定期開催します。会員限定で無い情報発信の場として、継続します。九州・関西・中部・関東甲信越・東日本支部と一巡しましたので、地域支部はもとより、協会誌連動企画、複数のSIGとの連携も検討します。

国際連携は、GAATO(Global Alliance of Assistive Technology Organizations)加盟団体として、継続的に参加します。2024年度は、第38回リハ工学カンファレンスin東海と同日開催ということもあって、中国でのアジア大会には参加できませんが、世界保健機構(WHO)との連携を、より深めてゆきます。

総務関連では、協会が一般社団法人としての内部に抱える課題を更に解消していきます。個人情報保護、特定商取引等、多くの懸案がありますが、より適切な活動を進めます。インボイスの解釈には、適切に対応してゆきます。

適切な財務体制を、さらに徹底します。事務局の強靱化に関しても、新しく立ち上げた電子化検討委員会にて検討を進めます。

2024年度は、代議員・役員選挙があります。改正を検討後に、規則・細則を遵守し、対応してゆきます。

以上、2024年度も、皆様よろしくお願いします。

会長 河合 俊宏

1 事業

1.1 リハ工学カンファレンス関連(担当理事:鈴木太・渡辺崇史)

(1)第 38 回リハ工学カンファレンス in 東海 準備

- ・テーマ:出会いが生むミライ～人とテクノロジーが紡ぐみんなの暮らし～
- ・開催日:2024 年 8 月 23 日(金)～25 日(日)
- ・会場:日本福祉大学東海キャンパス(愛知県)
- ・大会長:渡辺崇史氏(日本福祉大学福祉テクノロジーセンター)
- ・実行委員長:長束晶夫氏(なごや福祉用具プラザ)

(2)第 39 回リハ工学カンファレンス開催準備

(3)第 40 回リハ工学カンファレンス開催準備

(4)UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)継続利用

演題募集・登録のため UMIN システムを利用(システムの有料化に対応)

1.2 福祉機器コンテスト関連(担当理事:村田知之)

(1)福祉機器コンテスト 2024

1)第一次選考会

機器開発部門

- ・開催日:2024 年 7 月 13 日(土)
- ・会場:Web 会議システムによる実施
- ・応募数:15 件(会員 3 件、非会員 12 件)、前回は 21 件

学生部門

- ・開催日:2024 年 7 月 13 日(土)
- ・会場:Web 会議システムによる実施
- ・応募数:31 件(会員 0 件、非会員 31 件)、前回は 21 件

2)第二次選考会

機器開発部門は、応募者によるプレゼンテーションおよび実機による審査を実施

学生部門は、実機による審査を実施

- ・開催日:2024 年 8 月 24 日(土)
- ・会場:日本福祉大学東海キャンパス(愛知県) 及び オンライン(予定)

3)発表・表彰

- ・発表は、第 38 回リハ工学カンファレンス in 東海のプログラム内を予定
- ・表彰は、第 51 回国際福祉機器展(H.C.R. 2024)期間内、同会場にて予定

4)展示・広報:

- ・第 38 回リハ工学カンファレンス in 東海(愛知県) 2024 年 8 月 23 日(金)～25 日(日)
(一次選考会通過作品の展示)
- ・第 51 回国際福祉機器展(H.C.R. 2024)(東京都) 2024 年 10 月 2 日(水)～4 日(金)
- ・ニーズ・シーズマッチング交流会(大阪会場) 2024 年 11 月 25 日(月)～27 日(水)
- ・ニーズ・シーズマッチング交流会(東京会場) 2024 年 12 月 10 日(火)～12 日(木)
- ・キッズフェスタ 2025(東京都) 2025 年 4 月頃予定
- ・バリアフリー2025(大阪府) 2025 年 4 月 16 日(水)～18 日(金)
- ・協会誌 Vol.39 No.3 に応募状況について掲載
- ・協会誌 Vol.39 No.4 に受賞作品を掲載

- ・協会誌 Vol.40 No.1に報告書を掲載

(2)福祉機器コンテスト 2025

- 1)特別協賛:(予定) フランスベッド(株)
- 2)協賛:(予定) (株)ケーブ、日本 3D プリンター(株)、(株)フロンティア
- 3)後援:(予定) 厚生労働省、経済産業省、(公財)テクノエイト協会、
(公社)日本理学療法士協会、(公社)日本生体医工学会、(公社)計測自動制御学会、
(一社)日本義肢装具学会、(一社)日本作業療法士協会、(一社)日本生活支援工学会、
(一社)日本福祉用具・生活支援用具協会、(一社)日本車椅子シーティング協会、
(一社)日本福祉のまちづくり学会、(一社)日本人間工学会、バイオメカニズム学会、
(NPO)バイオフィリアリハビリテーション学会
- 4)福祉機器コンテスト 2025 事務局の委託(2025 年 3 月 1 日～)
- 5)選考委員会の設置(2025 年 4 月 1 日～)
- 6)募集対象:機器開発部門、学生部門
- 7)広報開始・応募要綱配布:2025 年 4 月中旬
- 8)募集期間:機器開発部門 2025 年 5 月～6 月、学生部門 2025 年 5 月～7 月
- 9)展示・広報 (予定)
 - ・キッズフェスタ 2025(東京都)(広報) 2025 年 4 月
 - ・バリアフリー2025(大阪府)(広報) 2025 年 4 月 16 日(水)～18 日(金)

(3)コンテスト発展のための取り組み

コンテストの企画内容及び運営方法の見直し

1.3 協会誌関連(担当理事:植田瑞昌・小島みさお)

(1)協会誌編集

- ・年4回、協会誌の発行に合わせて必要に応じ会場の確保を行い、協会誌編集委員会特集記事小委員会を開催
- ・コロナ禍での電磁的開催は定着したが、会場利用での対面開催のメリットも大きい ため、年 2 回の対面開催を計画

(2)協会誌発行

以下の協会誌を発行予定

- ・Vol.39 No.3 2024 年 8 月発行 特集「災害対策のアップデート(仮)」
- ・Vol.39 No.4 2024 年 11 月発行 特集「福祉用具のデザイン(仮)」
- ・Vol.40 No.1 2025 年 2 月発行「未定(仮)」
- ・Vol.40 No.2 2025 年 5 月発行「未定(仮)」

(3)投稿論文(査読依頼)

- ・協会誌編集委員会査読論文小委員会の運営を開始し、査読委員会内規のもと投稿論文の内規を改訂し、年 4 回の締め切りを設け、査読候補者名簿より迅速な査読者の選定と依頼、査読、査読依頼と結果通知の電子化を実施予定

(4)協会誌の段階的電子化

- ・協会誌電子化作業のうち、J-STAGE 登載を、(株)ジェイピーシーに継続委託

(5)協会誌編集委員会幹事委託費

- ・編集委員会幹事を松田健太氏(神奈川県総合リハビリテーションセンター)に委託

(6)論文賞の検討

- ・査読論文小委員会を中心に、優れた論文に対する「論文賞(仮)」授与に関して検討

(7)協会誌発行の持続化に向けた検討

- ・SDGsの観点から郵送コストや紙資源の削減、および、情報保障の観点からのデジタル化等の検討

1.4 分科会・SIG(担当理事:桂律也)

(1)SIG活動支援

- ・2024年度中に、全10SIGが法人内SIGとなり活動していく予定
- ・現在設立されている10SIGは、それぞれ主体的に活動内容を企画・実施しつつ、時に複数SIG間で協同の事業を行う。主な関心領域やメンバーの専門領域、そして企画の進め方も異なる多様性に富んだ10グループの活動組織は、当法人が企画する事業を実現化する際に変えになるグループであり、活動支援を継続する
- ・これまで同様、2024年度も当法人が企画・参画・運営する事業(講習会やコンテスト、協会誌の査読、リハ工学カンファレンス等)実施に際して各SIGと協働しながら当法人および各SIG活動の活性化を図る

(2)SIG合同企画の開催

- ・全10SIGが法人内SIGとして活動開始したのに伴い、複数のSIGによる合同企画の開催に向けて検討する

(3)各SIGの活動計画

詳細は「2024年度SIG活動計画」として別紙IIに示す。

1.5 分科会・支部(担当理事:小島みさお・植田瑞昌))

(1)支部への活動支援

会員はいずれかの地域の支部に所属し、各支部ではリハ工学に関わる人的ネットワークを構築している。協会誌やホームページで全支部からの情報を掲載し、会員への周知を図っている。支部ごとで活動状況に差があるので、2024年度は本部や他の委員会と協力し、さらなる支部活動への支援を積極的に行う。

- ・継続的な活動が行えるよう、活動経費として支部活動金を配分
- ・2024年度も引き続き支部活性化のための情報発信の簡便化や効率化等について検討

(2)各支部の活動計画

詳細は「2024年度支部活動計画」として別紙2に示す。

1.6 企画推進事業(企画担当理事:伊佐拓哲・中村詩子)

(1)研修企画委員会の活動

当協会の会員獲得や収益に向けた事業について検討する

(2)リハエミライ・アッセンブリー等の開催

- ・当協会だけではなく外部団体と連携してジャンルを超えた意見ディスカッションを実施し、障害当事者の一助になるセミナー等を開催
- ・新たな会員獲得、及びリハ工学に関する知識や技術の普及促進を目的としたリハエミライ・アッセンブリーの定期的開催

(3)日本リハビリテーション工学協会設立40周年記念事業の検討

- ・検討委員会設置
- ・事業計画の立案

1.7 事業統括(事業統括担当理事:金井謙介)

協会の広報活動および会員獲得に向けたPR活動、公益活動のために以下の展示会出展および出展社セミナー等の開催

(1)学会展示会、広報活動強化

以下の展示会等へブース出展し、広報活動を実施。その際、各地域の支部で運営できるように体制整備を進める。

- ・第51回国際福祉機器展(H.C.R. 2024)
リアル展:2024年10月2日(水)～4日(金) 10:00～17:00 (東京ビッグサイト)(東京都)
Web展:2024年9月2日(月)～11月1日(金) (H.C.R.ホームページ)
- ・ニーズ・シーズマッチング交流会2024
大阪会場:2024年11月25日(月)～27日(水) 東京会場:2024年12月10日(火)～12日(木)
- ・バリアフリー2025 2025年4月16日(水)～18日(金) インテックス大阪(大阪府)
- ・第52回国際福祉機器展(H.C.R. 2025)出展準備
- ・地域を含めた展示会等への出展検討

(2)セミナー開催

各福祉機器展において出展機会を有効活用し、出展効果の向上とリハ工学に関する普及を促進する目的で、積極的に出展社セミナー・ワークショップを開催

- ・第51回国際福祉機器展(H.C.R.2024)(東京都)での出展社プレゼンテーション等を企画・開催
福祉機器コンテスト2024をテーマにセミナーと表彰式を実施
- ・バリアフリー2025(大阪府)での出展社セミナーを企画・開催

(3)情報保障の拡充

障害者差別解消法の施行により、障害のある人に対する情報保障を実施する必要性がある。当協会においても、主催セミナー・シンポジウムや支部事業、カンファレンス等において情報保障の実施が求められており、そうした社会情勢に対応するため継続して行う。

1.8 国際関連事業(担当理事:森田千晶・桂律也)

(1)国際関連団体との相互協定に基づく交流

- ・国際連携推進委員会委員2名をGAATO(Global Alliance of Assistive Technology Organizations)理事として各種会議出席(オンライン)
- ・毎年、RESKO(Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of Korea)およびTREATSとの協定により、各国代表の参加を支援
- ・当協会代表者のCREATE Asia(the Coalition on Rehabilitation Engineering & Assistive Technology of Asia)、RESKO、TREATS(Taiwan Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society)、RESNA(Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of North America)等への参加希望者の参加支援

(2)国際連携推進委員会の開催

- ・当協会の国際連携等についてのアドバイスを行う国際連携推進委員会を設置し、Web会議システムにて年に2回程度の委員会を開催

1.9 災害対策関連事業(担当理事:早川康之)

(1)災害対策委員会活動

- ・災害対策委員会が持っている案件を解決するための委員会活動を活性化
- ・事業の実施に際して、活動開始までの段取りを、災害対策委員全員による検討ができるよう、Web会議システムによる会議を実施

(2)災害対策セミナー等の開催

- ・第38回リハ工学カンファレンスin東海 内で災害対策セミナーを開催
- ・協会の広報活動および会員獲得に向けたPR活動、公益活動のためにセミナー等を開催
- ・運営は災害対策委員会を中心に各SIGや支部の協力を仰ぎながら企画し、当協会による平時からの災害対策啓発、

技術伝承、及び災害時の福祉用具や住環境改善の対応等の内容を検討

(3)災害対策マニュアルの作成

- ・障害を持つ方向けの災害対策マニュアル(防災マニュアル)について内容の精査を行い、2024年度内の発刊を目標に準備

(4)他団体との協働

- ・(一社)日本災害リハビリテーション支援協会 JRAT (Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team)の正会員として、理事会、各委員会活動への参加
- ・令和6年能登半島地震への支援
- ・当協会の特長を生かせる災害対策を求めている災害対策関連団体を選定し、協力方法について検討
- ・災害関連イベントに関して、他団体との協働活動の可能性を検討

2 総務

2.1 規則・選挙(担当理事:江原喜人)

(1)2025年度代議員・役員候補者選挙

- ・2025年度代議員を実施
- ・2025年度役員候補者選挙の準備

(2)規程の整備

- ・各種規程を整備し、必要に応じて改定

2.2 財務(担当理事:江原喜人・桂律也・金井謙介)

(1)法人会計の管理

- ・2024年度決算の実施
- ・2025年度予算案の提案
- ・四半期決算の実施

(2)分科会・支部の連結決算の準備

- ・分科会・支部の会計状況の把握
- ・会計システムの再構築および統合準備

2.3 総会・理事会(担当理事:北野義明・江原喜人)

(1)2024年度定時社員総会の開催

- ・2024年8月に、カンファレンス会場にて定時社員総会を開催
開催日:2024年8月24日(土)11:40~12:40
会場:日本福祉大学東海キャンパス(愛知県)

(2)2024年度理事会の開催

- ・年5回(2024年7月、10月、12月、2025年3月、6月)、通常理事会を開催
- ・審議内容に応じた会議方式(対面会議またはWeb会議)により開催

2.4 広報・渉外(担当理事:小林博光・鈴木太)

(1)協会リーフレット印刷

- ・協会案内用リーフレット印刷

(2)Web会議システム利用

- ・Web会議システムを活用し、効率的で経費負担の少ない事業運営を目指す

(3)外部ストレージ利用

- ・理事業務を円滑に行うため、外部ストレージ(X server Drive)を利用し、各種データを共有

(4)Web・メールサーバー運用管理

- ・Webコンテンツの情報更新、各種メール機能の設定、メールニュース送信

2.5 事務局(事務局統括理事:江原喜人)

(1)事務局運営

- ・法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進める。

(2)会員管理システム導入の検討

- ・事務局体制支援を含めたシステム導入について検討
- ・イベント、セミナー等の集金システムとの統合・活用も検討
- ・必要に応じた委員会の設置

(3)展示会出展における広報活動

3. 後援・協賛事業

- ・後援・協賛予定事業(主催団体と内容)は下記の通りである

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	(NPO)ケアリフォームシステム研究会	2024年7月6日(土)	第21回ケアリフォームシステム研究会 全国大会 in 兵庫
2	協賛	(NPO) ヒューマンインタフェース学会	2024年9月18日(水) ～20日(金)	ヒューマンインタフェースシンポジウム 2024
3	協賛	(一社)ライフサポート学会、(一社) 日本生活支援工学会、(一社)日本 機械学会	2024年9月12日(木) ～14日(土)	LIFE2024 (公社)生体医工学会との合同開催)
4	後援	(一社)日本作業療法士協会	2024年11月6日(水) ～9日(土)	第8回アジア太平洋作業療法学会
5	後援	(一社)日本作業療法士協会	2024年11月9日(土) ～10日(日)	第58回日本作業療法学会

【別紙1】

2024年度 SIG 活動計画

※SIG 会員数(協会員数)は 2024年 6月1日現在

SIG 姿勢保持 会員数:24名 <http://www.resja.or.jp/posi-sig/>

代表者:繁成剛氏(長野大学) 事務局長:児玉真一氏(フリーランス)

- ・講習会開催、役員会の開催、講習会の打合せ会議、資料集販売、ホームページ運営、当協会事業への協力
- ・講習会:SIG姿勢保持講習会2024(2024年8月3日(土)・4日(日):障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール)

車いす SIG 会員数:38名 <https://www.wheelchair-sig.jp/>

代表者:沖川悦三氏(神奈川県総合リハビリテーションセンター) 事務局長:深野栄子氏

- ・役員会開催・車いす SIG 講習会開催、ホームページ運営、分科会(BOG)活動、大規模災害復興支援
- ・(一社)日本車椅子シーティング協会 車椅子姿勢保持基礎講習会(障害分野)の共催
- ・外部協力団体から協会内部組織化にかかる移行作業
- ・その他、当協会事業への協力

自助具 SIG 会員数(Facebook グループ登録者):46名 ホームページなし

代表者(事務局兼務):岡田英志氏(ヒューマン)

- ・3D プリンター研究会によるリハエカンファレンスでの SIG セッション開催
- ・Facebook での自助具関連情報発信

乗り物 SIG 会員数:5名 <https://ameblo.jp/sunrisejp007/>

代表者:麩澤孝氏((有)セカンドステージ) 事務局長:片石任氏((株)フロンティア)

- ・SIG ブログの更新、充実、情報提供・発信、セミナー開催(予定)

SIG 褥そう防止装置 会員数:10名 <http://www.resja.or.jp/sig-pmps/>

代表者(事務局兼務):新妻淳子氏(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

- ・協会事業への協力
- ・SIG の今後の活動を考えるミーティングを予定

コミュニケーション SIG 会員数:11名 ホームページ:修正・変更中

代表者:現在不在 事務局長:上野忠浩氏(横浜市総合リハビリテーションセンター)

- ・スイッチ製作工具等貸出、ホームページ改修

SIG 住まいづくり 会員数 31名 www.sig-sumai.info

代表者:橋本美芽氏(東京都立大学) 事務局長:鈴木基恵氏(横浜市総合リハビリテーションセンター)

- ・協会事業への協力、SIG 住まいづくりの活動方針に関する意見集約、研究会の企画立案
- ・ホームページリニューアルの検討

特別支援教育 SIG 会員数:5名 ホームページなし

代表者:松田靖史氏(川村義肢(株)) 事務局長:高原光恵氏(鳴門教育大学)

- ・教育情報チラシの作成、協会事業への協力

移乗 SIG 会員数 14 名 HP なし(開設予定)

代表者:古田恒輔氏(神戸学院大学) 事務局長:青木久美子氏(フリーランス)

- ・役員会の開催(4回 基本的にWeb会議)、ホームページの開設
- ・講習会の開催(1回 内容検討中)、リハ工協会事業への協力

義肢装具 SIG 会員数:25名 <https://resja.or.jp/po-sig/>

代表者:笹川友彦氏(熊本総合医療リハビリテーション学院) 事務局長:砂野義信氏(フリーランス)

- ・義肢装具 SIG ホームページ運営

2024年度 支部活動計画

東日本支部

(1)概要

昨年度に引き続き今年度も、早期に組織の編成を行い、今後の活動計画の策定に努めたい。東日本支部は、広域であり、会議・セミナー・勉強会などについては、Web 会議システムなどを活用したいと考えている。東日本大震災などの災害の経験を活かして、地域 JRAT と支部の協力体制を構築していきたい。

(2)2024 年度支部役員体制

支部長:桂律也氏(クラーク病院:継続)

連絡先:higashinihon@resja@or.jp

関東・甲信越支部

(1)概要

関東・甲信越支部活動として、昨年度より掲げている「災害対策キャンプ」のテーマおよび、第4回ミライ・アッセンブリーのテーマであった「障害者と災害を考ええる」を継続し、引き続き災害時に必要となるリハビリテーション工学的視点について知識・技術等の普及・啓発を目指す。

(2)主要事業

支部セミナーの開催(年1回程度)

- ・開催日:未定
- ・会場:未定
- ・内容:災害時の食事について、非常食の実際について意見交換会を実施予定

(3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

第51回国際福祉機器展ブース運営の協力

- ・開催日:2024 年 10 月 2 日(水)~4 日(金)
- ・会場:東京ビッグサイト(東京都)

自立支援機器ニーズ・シーズマッチング交流会 2024(東京会場)ブース運営の協力

- ・開催日:2024 年 12 月 10 日(火)~12 日(木)
- ・会場:東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都)

(4)その他

支部役員会の開催

- ・開催日:必要に応じて開催
- ・会場:Web 会議形式を予定
- ・内容:2023 年度の事業報告・決算報告、2024 年度の事業計画案・収支予算案について、その他

(5)2024 年度支部役員体制

支部長:沖川悦三氏(神奈川県総合リハビリテーションセンター)

幹事:水澤二郎氏((一財)啓成会:継続)

深野栄子氏(日本リハビリテーション工学協会:継続)

麩澤孝氏((有)セカンドステージ:継続)

植田瑞昌氏(日本女子大学:継続)

片石任氏((株)フロンティア福祉本部:継続)

河合俊宏氏(埼玉県総合リハビリテーションセンター:継続)
鈴木明子氏(野のすみれクリニックリハビリテーション科:継続)
岡野善記氏(継続)
石濱裕規氏((医)永生会:継続)
森田千晶氏((株)リ・ハピネス:継続)

連絡先:kkse@resja.or.jp

中部支部

(1)概要

2024年度においては、主として第38回リハ工学カンファレンス実施に向けて実行委員として、活動する。また、年間2回程度の支部セミナーや各種勉強会を主催する。さらに、関係諸活動の後援など、リハビリテーション工学に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図る。

(2)主要事業

1)支部セミナーの開催

福祉用具見学会

- ・開催日:2024年度内(実施日未定)
- ・会場:愛知県内(予定) 及び オンライン
- ・講師:中部支部会員

機器活用勉強会および事例検討会

- ・開催日:2024年度内(実施日未定)
- ・会場:(会場未定) 及び オンライン
- ・講師:中部支部会員

2)第38回リハ工学カンファレンス実施に向けた実行委員会としての活動

(3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

後援・協賛・協力依頼等があれば随時検討

(4)その他

支部役員会の開催(随時開催予定) Web会議

(5)2024年度支部役員体制

支部長:渡辺崇史氏(日本福祉大学:継続)

幹事:北野義明氏(石川県リハビリテーションセンター:継続)

長束晶夫氏(なごや福祉用具プラザ:継続)

事務局:日本福祉大学(渡辺)

連絡先:chubu@resja.or.jp(渡辺)

関西支部

(1)概要

年間1回程度支部セミナーを主催するとともに、各種勉強会を開催する。さらに、バリアフリー2025 やニーズ・シーズ マッチング交流会 2024(大阪)への出展協力や協会主催セミナーの開催などの協会活動への協力を行い、リハビリテーション工学及び福祉用具・住環境整備等に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図る。

(2)主要事業

1)支部セミナーの開催(年間1回程度)

- ・テーマ案(いずれか一つ):「車椅子の航空機搭載に関してその2」、「障害のある方の避難、防災」、「障がいのある

方の生活再建・支援制度その2」

- ・開催日:2024 年 10～11 月もしくは 2025 年 2～3 月ごろ
- ・会場:未定

2)バリアフリー2025 運営協力および出展者セミナーの開催

- ・テーマ:未定
- ・開催日:2025 年 4 月 16 日(水)～18 日(金)
- ・会場:インテックス大阪(大阪府)
- ・内容:ブース運営スタッフの派遣、出展者セミナーの開催など

3)ニーズ・シーズマッチング交流会 2024(大阪)運営協力

- ・開催日:2024 年 11 月 25 日(月)～27 日(水)
- ・会場:大阪マーチャンダイズ・マート(OMM)(大阪府)
- ・内容:ブース運営スタッフの派遣

(3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

協力:日本身体障害者補助犬学会第 16 回学術大会

(4)その他

支部役員会の開催

- ・開催日:2024 年 9 月ごろ、2025 年 5 月ごろ
- ・会場:Web 会議、もしくは対面会議(大阪、神戸)
- ・内容:支部セミナー等の企画検討、事業報告・決算報告、事業計画案・収支予算案について など

(5)2024 年度支部役員体制

支部長:赤澤康史氏(新任)

副支部長:剣持悟氏(川村義肢(株):継続)

宮野秀樹氏((NPO)ほしぶる:継続)

幹事:金井謙介氏(神戸学院大学:継続)

島本卓氏(兵庫県聴覚障害者連絡会:継続)

中村俊哉氏(兵庫県立福祉のまちづくり研究所:継続)

林威智郎氏(川村義肢(株):新規)

松田靖史氏(川村義肢(株):継続)

事務局長:糟谷佐紀氏(神戸学院大学:継続)

連絡先:kansai@resja.or.jp

中国・四国支部

支部代表退任に伴い、早期に組織の編成を行い、今後の活動計画の策定に努めたい。中国・四国支部は会員登録数も少なく、会員獲得に向け、引き続き本部と連携し、体制構築に向け検討していく予定。

九州支部

(1)概要

インターネットラジオ配信を行う。九州支部掲示板と合わせ、情報交換を行い、リハビリテーション工学及び福祉機器に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図る。

(2)主要事業

月に 4 回程度を目標にインターネットラジオ配信を実施

配信素材の収録のため、福祉機器・リハ工学関連施設にて取材

(3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

(4)その他

支部役員会の開催（メーリングリストで意見・情報交換、必要であれば適宜 Web 会議を開催）

(5)2024 年度支部役員体制

支部長:小林博光氏(総合せき損センター:継続)

スタッフ:江原喜人氏(総合せき損センター:継続)

辻奈美氏(純真学園大学:継続)

山形茂生氏(コネクトリハビリテーション:継続)

連絡先:koy@resja.or.jp